

生活ビジネス

スーパーの特売情報をスマホに配信

凸版印刷が運営する電子チラシサービス「Shufoo!（シュフー）」の利用者が順調に伸びている。スーパーなどが新聞の折り込みチラシに載せる特売情報を、スマートフォンの無料アプリで配信する。

子供の世話を朝が忙しく、チラシをゆっくり見ている時間のない主婦らが、手が空いたときにスマホでチェックできる。2001年にチラシをデジタル化して企業のホームページ向けに提供する事業として開始。5年前にアプリに転換した。

当初は約2万店だった掲載店

数は、全国3100社、10万店超に拡大。スーパー、ドラッグストア、家電量販店、百貨店などさまざま。今年1月の月間閲覧件数は約2億7000万件。5年間で20倍に増えた。

2年前から利用している東京都内の主婦、池戸智子さん（27）は、近所のスーパーの情報を比較したり、子供や自分の服のセールをチェックしたりしている。

「肉や野菜など、どの食材はどの店が安いかわずぐに分かって便利。スマホのレシピサイトも見ながら、何を買うか決める。



スーパーの特売情報が掲載された「Shufoo!」のスマホ画面—東京都内のスーパー

何となく食材を買って無駄にすることがなくなった」と話す。

3月からは、中国や台湾など現地の旅行サイトに日本の百貨店、家電量販店の買い物情報を提供する訪日外国人向けサービスを始めた。「日本のチラシを

理解しやすい漢字文化圏の人に、訪日前に鮮度の高い情報を知ってもらえる」とメディアソリューション部の亀井川篤部長。

さらに、培ってきたシステムとコンテンツを生かし、電力会



「Shufoo!」の仕組みを使った外国人向けの日本の買い物情報画面

社や自治体とも提携を進め、契約者や住民とのコミュニケーション手段として利用してもらう計画だ。亀井川部長は「多彩な買い物情報をさまざまな形で届けることで、豊かな生活に役立ててもらいたい」と話す。